

「特殊詐欺、ひとつとじゃない！」キャンペーンの実施

(平成27年5月29日 ~ 平成27年12月31日)

県民文化部くらし安全・消費生活課

昨年5月23日、長野県及び長野県警察は「特殊詐欺非常事態宣言」を発令し、県民一丸となって被害を撲滅するための取組を推進してきました。

しかしながら、本年に入り、「オレオレ詐欺」を始めとした特殊詐欺被害が昨年を上回るペースで発生し、極めて深刻な事態となっていることから、被害に歯止めをかけるため発生傾向に基づく重点的対策を強化して実施します。

1 発生状況 (平成27年1月～4月累計・暫定値) ~ 1か月に20件のペースで多発~

○ 認知件数 82件(前年同期比 +20件 増減率 +32.3%)

○ 被害額 2億8,755万1,217円(前年同期比 -1億1,383万1,773円 増減率 -28.4%)

2 発生傾向

- 認知件数全体の40%が「オレオレ詐欺」(うち9割が「息子がたり」)
- 「オレオレ詐欺」「還付金詐欺」の被害者は、全て60歳以上の高齢者
- 新幹線沿線地域(長野市、上田市、千曲市)で被害者が急増。
(石川県、富山県、新潟県でも被害が急増)
- 特定地域における同窓会名簿、電話帳等を利用した前兆電話が急増。
- 現金送付型のうち、宅配便を利用した手口が増加。
- 振込型は、コンビニ等の金融機関店舗外設置のATM利用が増加。

3 被害者の意識~多くの人が「だまされない。」と思っている~

被害者の9割・・・「特殊詐欺を知っていた。」 ○ ○ ○
被害者の8割・・・「自分はだまされないと思っていた。」

周知は進んだが、「ひとつ」と思っている？

4 「特殊詐欺、ひとつとじゃない！」キャンペーンの実施

- ・ 県民の特殊詐欺への危機意識・当事者意識を醸成し、警戒力を強化するために
- ・ 卑劣な詐欺へ「家族の絆」と「県民の一致団結」で立ち向かう気運を醸成するために

○ 県民運動の推進

- ・ 「家庭の日」「敬老の日」等をきっかけにした家族間での定期的な声かけの推奨
- ・ テレビ、ラジオCMの放映、各種広報媒体を活用した啓発の強化
- ・ まずは県職員が実践し、あらゆる機会を通じて県民へ広く呼びかける

○ 被害多発地域の高齢者に対する集中対策

- ・ 詐欺の前兆電話に負けない訓練型出前講座(「周知」から「体験」へ)
- ・ 高齢者の「この電話、詐欺かも？」との気づきを促す啓発グッズの作成、配付
- ・ 利用されている可能性が高い同窓会名簿登載者への注意喚起の強化

○ 長野県消費者被害防止対策推進会議の開催(6月23日)

- ・ 構成団体への発生状況の周知と危機意識の共有化
- ・ 県の取組の周知と広報啓発の強化依頼
- ・ 構成団体による効果的対策の協議、検討